

地域医療の中で行う支援

- | | |
|----------------------------|---------------------------------------|
| ①日々の診療において認知機能の低下に気づく | ②診断にあたり、必要に応じて専門医療機関と連携 |
| ③原因疾患に対する治療とケア | ④身体合併症等の発症や悪化への対応 |
| ⑤行動・心理症状（BPSD）への対応、せん妄への対応 | ⑥歯科医療と連携した支援（歯科口腔疾患への対応、口腔ケア、摂食嚥下支援等） |
| ⑦薬局と連携した支援（服薬管理指導等） | ⑧介護保険サービス等の利用へ向けた支援 |
| ⑨状況に応じて、成年後見制度、権利擁護制度の利用支援 | ⑩家族等への支援 |
- ⑪意思決定支援及び本人の価値観、希望に沿った医療・ケアの提供
- ⑫本人の生活環境・経済状況等を踏まえた支援

認知症サポート医に期待されていること

※認知症サポート医等に関する区市町村へのアンケート調査（R3.5実施）より抜粋

認知症サポート医に期待する役割

（Q9「認知症サポート医に取り組んでほしいこと」より、上位3位）

- ①住民向け講演会や研修の開催に当たり、企画立案や講師として協力
- ②地域の中でBPSDへの対応が困難なときや対応困難な事例があった際、区市町村や地域包括支援センター、医療・介護関係者からの相談に応じる
- ③専門職向けの研修実施や講演会の開催に当たり、企画立案や講師として協力

困りごとを解決するために認知症サポート医にどのように対応してほしいか

（Q6「サポート医に連絡しても解決ができないことがある」と回答した区市町村より、複数回答があったもの）

- 継続して相談に応じてほしい
- 受診困難な場合等に同行訪問してほしい
- 医師の視点からのアセスメントや今後の対応方法等の助言
- 必要に応じて専門医療機関につないでほしい

住み慣れた地域で適時・適切な医療・介護・生活支援等を受けられるよう、都の認知症サポート医は以下の役割を担う

【すべての認知症サポート医に共通する役割】

- ◎ 主治医として関わる患者について、本人や家族等を支えるチームの一員として継続して関わり、適時相談に応じて適切な助言と支援を行う
- ◎ 対応が難しい場合には適切な医療機関や専門医、必要な連携先を紹介し繋げる
- ◎ 認知症サポート医等フォローアップ研修の受講等を通じて、認知症医療に関する自身のスキルアップを図る

【地域のニーズに合わせて担う役割】

- 主治医として関わる患者以外の方についても、本人や家族・介護者を支えるチームの一員として共に継続して関わり、適切な助言と支援を行う（初期集中支援チームへ参画等）
- 区市町村が行う検診事業や地域で行われる認知症カフェ等の地域活動への協力、住民向け講演会や専門職向け研修等の企画立案や講師としての協力

1 研修概要

- ①目的 都内の認知症サポート医等のスキルアップ及び活動の促進を図る。
- ②実施 認知症支援推進センター（都からの委託に基づき、独立行政法人東京都健康長寿医療センターに設置）

2 令和4年度以降のカリキュラム変更点

新たに地域活動（認知症検診、認知症カフェ等）に関する講義や多職種連携のあり方や連携の中での認知症サポート医の役割について検討しあうグループワーク（事例検討）を取り入れる。

3 令和4年度 実施内容

	第1回	第2回	第3回	第4回
テーマ	認知症サポート医の役割	研究の最前線	認知症診療のアドバンス*スキル	グループワーク（事例検討）
ねらい	認知症サポート医に求められる役割の理念について理解し、実際の活動の広がりの可能性についても考える。	現状の認知症研究の成果を知り、認知症医療・ケアが目指す方向性の潮流を知る。	明日からの日常診療に取り入れられる知識を習得し、診療技術の向上を目指す。	多職種連携のあり方と、多職種連携における認知症サポート医の役割について考える。
オリエンテーション(5分)	◆今年度の東京都認知症サポート医等フォローアップ研修について 東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター長 井藤佳恵 先生			
1コマ目 系統的な学習プログラム	◆認知症サポート医の活動を広げるために(30分) 【講師】医療法人社団梟社会 西田医院 理事長 西田伸一 先生 ◆みんなでしゃべろう！「認知症を考えるカフェ練馬」を主催して(30分) 【講師】桜台診療所 院長 辰野剛 先生	◆認知症の方の栄養ケアと食支援(60分) 【講師】東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム 口腔保健と栄養研究 研究員 本川佳子 先生	◆レビー小体型認知症の臨床診断と治療(60分) 【講師】東京都立松沢病院 精神科 医長 西尾慶之 先生	◆グループワーク 多職種連携 ～情報の収集と補正～(120分) 【講師】東京都健康長寿医療センター 認知症支援推進センター長 井藤佳恵 先生
2コマ目 臨床お役立ちコンテンツ(30分)	◆BPSDについてその① Keyword「本人」 【講師】東京都健康長寿医療センター 精神科部長 古田光 先生	◆BPSDについてその② Keyword「家族」 【講師】東京都健康長寿医療センター 精神科部長 古田光 先生	◆BPSDについてその③ Keyword「薬物療法」 【講師】東京都健康長寿医療センター 精神科部長 古田光 先生	
受講者数	290名	253名	238名	44名

■ 認知症サポート医の見える化について

とうきょう認知症ナビ

医療機関案内

認知症サポート医名簿

- 東京都では、地域で認知症の人を支える医療支援体制の充実を図るため、「認知症サポート医養成研修」と「東京都認知症サポート医等フォローアップ研修」を実施しています。
- 東京都における「認知症サポート医」の役割は以下のとおりです。（第33回認知症対応型医療従事者会議）

【すべての認知症サポート医に共通する役割】

- 主治医として関わる患者について、本人や家族等を支えるチームの一員として継続して関わり、適時相談に応じて適切な助言と支援を行う。
- 対応が難しい場合には適切な医療機関や専門医、必要な連携先を紹介し繋げる。
- 東京都認知症サポート医等フォローアップ研修の受講等を通じて、認知症医療に関する自身のスキルアップを図る。

【地域のニーズに合わせて担う役割】

- 主治医として関わる患者以外の方についても、本人や家族・介護者を支えるチームの一員として共に継続して関わり、適切な助言と支援を行う（初診時等）。
- 区市町村が行う検診事業や地域で行われる認知症カフェ等の地域活動への協力、住民向け講演会や専門職向け研修等の企画立案や講師としての協力。

東京都では、各認知症サポート医から、氏名、医療機関所在地等のほか、令和4年度からはご自身が対応可能な取組について報告いただいています。

ここではその報告内容について、公表に関する同意に基づき掲載しています。

公表名簿（抜粋）

区市町村	所属機関名	氏名	郵便番号	所属機関所在地	所属電話番号	地域包括支援センターからの相談対応（主治医以外の場合は○）	初期集中支援チームへの参加	地域包括支援センターへの参加	認知症カフェへの参加	研修講師としての協力	R01	R02	R03	備考
大田区	鈴木クリニック	鈴木 和郎	143-0015	大田区大森西5-25-11 ヴィラ・グランゾーノ(2階)	03-365-9000									
大田区	城南大森西クリニック	倉田 典幸	143-0015	大田区大森西7-7-16 城南医療ビル1階	03-368-3000	○	○	○	○	○				
大田区	石井メンタルクリニック	石井 一平	143-0016	大田区大森北1-29-4	03-368-732									
大田区	くどうちあき脳神経外科クリニック	工藤 千秋	143-0016	大田区大森北1-23-10	03-670-26	○	○	○	○	○				
大田区	医療法人社団陸仁会 北峰病院	北峰 誠	143-0016	大田区大森北3-4-5	03-368-066	非公表	非公表	非公表	非公表	非公表				
大田区	...	渡辺	143-0016	...	03-368-...									

※「R01」「R02」「R03」には、令和元年度から令和3年度までの認知症サポート医等フォローアップ研修を受講している年度に心印が記載されています。

新たに公表を開始した箇所

○研修講師の依頼や認知症カフェへの参加依頼、初期集中支援チームへの参加可能な医師や地域包括支援センターからの相談に対応可能な医師の把握等の活用を想定

＜活用事例＞

- ・認知症カフェでのドクター相談会への参加依頼
- ・都民向け講演会や専門職の勉強会等への講師依頼
- ・初期集中支援チームへの参画への依頼
- ・地域包括支援センターからの相談対応の依頼

別紙〈ご対応が可能な取組について〉により回答があった項目のうち以下の回答を掲載

- 主治医として関わる患者以外の方について、地域包括支援センターからの相談に応じ、助言と支援を行えるか
- 地元の初期集中支援チームへの参加が可能か
- 地元で行われている認知症検診事業への参加が可能か
- 地元の認知症カフェ等への参加が可能か
- 住民向け講演会や専門職向け研修の講師としての協力が可能か

○目的

認知症サポート医についてより多くの都民に周知するとともに、認知症サポート医の方々にその役割を改めて意識していただくことを目的として作成

○活用方法

都内の認知症サポート医宛てに配布し、医療機関の待合室への掲示等により活用していただくことを想定

○発行部数（予定）

約 1,480 部

※12月末時点都内認知症サポート医数

私たちは
認知症サポート医
です

私たちは、
地域の身近なかかりつけ医として、
あなたの生活を支えます

◎認知症の方とご家族を支えるチームの一員として、医療の面から皆様の生活をサポートしています。

◎必要に応じて、適切な医療機関や専門医等を紹介しています。

その他、**認知症検診事業**や
認知症カフェ、住民向け講演会などの地域の取組に協力しています。

当院では認知症サポート医による診療が受けられます。
もの忘れや認知症のことについて気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。

←都内の認知症サポート医の一覧は、
こちらのQRコードからご覧いただけます。

東京都